

2023
ズバリ! 的中



世界史

東京大学

論述問題が的中

指定字数も3行(90字)以内と80字以内でほぼ的中

入試問題

前期日程

第2問 問(1)(b)

第2問

水は人類にとって不可欠の資源であり、水を大量に供給する河川は、都市や文明の発展に大きく寄与した。また河川は、交通の手段となって文化や経済の交流を促したり、境界となったりすることもあった。このことに関連する以下の3つの設問に答えよ。解答は、解答欄(口)を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)~(3)の番号を付して記せ。

問(1) 長江は、東アジアで最も長い河川であり、新石器時代から文明を育み、この流域の発展は中国の経済的な発展を大きく促してきた。このことに関する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えよ。

(a) 中国では3世紀前半に、3人の皇帝が並び立つ時代を迎えた。このうち、この川の下流域に都を置いた国の名前とその都の名前、および3世紀後半にその国を滅ぼした国の名前を記せ。

(b) この川の流域の発展は、「湖広熟すれば天下足る」ということわざを生み出した。このことばの背景にある経済の発展と変化について、3行以内で記せ。

河合塾

大学受験科 基礎シリーズ

完全習得タイム世界史

第8講 7(b)

㉑

(a) モンゴル帝国が整備した交通制度の名称を記し、この制度の特徴を、あわせて60字以内で説明せよ。

(b) 宋は、女真人によって南方に逐われたものの、その南宋の時代に江南の開発が進み、長江下流域は「蘇湖熟すれば、天下足る」と言われるほどの穀倉地帯に成長した。しかし、明末には、米穀生産の中心は長江中流域に移動し、「湖広熟すれば、天下足る」と言われるようになった。

下線部のような事態をもたらした原因を次の語句を必ず用いて80字以内で述べよ。

綿織物 桑

(c) 清朝でキリスト教の布教が制限されていく過程を90字以内で説明せよ。